

# ARPA · K NEWS LETTER 地域計画 · 建築研究所



3月19日に京都市衣笠でハウス・ハンズ・ギャラリーがオープンしました

## アルパック ニュースレター もくじ

• 暮らしの文化とすまいの産業 .....	2
• 日の丸のルーツ .....	4
• トリスタンとでんでん太鼓 .....	5
• 新航空交通のユメ “ヘリシップ” .....	6
• 20世紀から21世紀へ日本は何を伝承するか(2) .....	8
• 角倉了以と高瀬舟 .....	9
• 札幌テクノパークとエレクトロニクスセンター .....	10
• 衣川台まちづくり奮闘記 .....	10
• 新人紹介 .....	11
• ネットワーク通信③日本都市問題会議関西会議 .....	14
• 旧刊新刊書評紹介「ワープロ徹底入門」 .....	15
• まちかど .....	16

NO. **30**

## くらしの文化とすまいの産業

### —ハウス・ハンズ・ギャラリーは発信する—

三輪 泰司

3月19日、京都市北区衣笠—平野神社の北側に、ハウス・ハンズ・ギャラリーがオープンしました。企画の段階では、「都市居住文化センター」といっていましたが、HOPE—地域住宅計画—推進事業の多彩なメニューのひとつです。

約5,000㎡の敷地（借地）に、6棟の郊外型住宅と、6棟の町屋型住宅のモデルが建ち、広場ではイベントが催され、レストラン、ショップも賑わっています。これから5年間、市民とすまいの供給者を繋ぎくらしにまつわる「モノ」を間において、すまいの文化をつくって行くギャラリーが発信をはじめました。

このご報告が、各地の事業のご参考になれば幸いです。

#### その時代背景と原理

「生活者」という言葉が流行っています。百貨店でも、専門店でも、生活提案とかいって消費者へのアクセスに努めています。

昔は、圧倒的多数の国民は、ささやかな日々のくらしを営むのに精一杯で、いわばやむを得ず「生活者」でした。戦後、高度経済成長の中で、モノの供給が主導して、国民は

#### 京の街並を考慮した新町家



「消費者」となりました。三種の神器とか、ブランド商品とか、旅行までバック商品になり、国民は欲求によって、消費者になりました。

文明は常に、進歩の裏にツケをもたらします。今、便利さ、豊かさと引換えにどのようなことになったか。人類生存の安全の価値から、社会の質にいたるあらゆることが、見直しをせまられています。

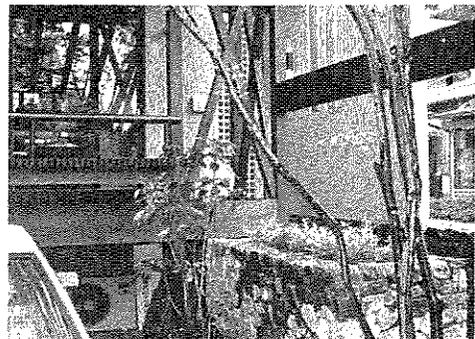
市民社会から、消費社会を抜き出して、供給の対象にするのではなく、市民社会と同心円の中に消費社会を据えることが意識されてきたと言われていています。意識して「生活者」へなろうとしている国民主導の新しい時代相でしょう。

#### その実践蓄積と方向

ハウス・ハンズ・ギャラリーは、思いつきで生まれたアイデアではありません。

元をたどれば、1977年（昭和52年）に、京都市住宅審議会が、市長の諮問を受けて「56年以降の京都市における住宅のあり方」の研究に取り組みはじめて以来、11年間の粘り強い調査・研究の蓄積が、その土台になっています。中でも、若手研究者を中心とした「新

#### 新町家での居間とガレージの工夫



しい都市住宅研究会」→通称KJKの“京都らしい都市住宅”を求めて、スライドを持って市民と対話をしたり、建築家のコンペをしたりの活動があります。3月に「苑西のまちづくり」を発表した中立(ちゅうりつ)学区住民福祉協議会の、市民が主導し、専門家が協力しての地域ぐるみの活動があります。

昔は、“衣食足りて礼節(栄辱)を知る”とあって、マナーを含めて、文化は経済の繁栄があってこそ育つということになっていました。では、衣食が一応足りてきた時には、どうなるかというのが、今の命題です。その答えは、

第1には、文化が、礼節が、ベースになって経済をつくることになること。

第2は、文化を、礼節を、軸にして、モノづくりの担当者—産業と、受け手—市民が一体になること。

そこで「衣食」で抜けていた「住=すまい」をその軸として、「くらしの文化とすまいの産業」というわけです。

そして、研究者や専門家も同じように、市民の目線の高さに、自らの視点を握えて、文化と産業の繋ぎ役をすることになりますし、行政とはいえば、これは市民自治の拠り所=市民権力の事務局ですから、「方向を示し、差し水をし、後押しをする」役割でしょう。

#### その成立基盤と機能

京都は1200年も都市生活をしてきました。惨憺たる経験もしましたし、「衣食足った」経験もしています。そこで、文化や礼節を軸にして、市民=町衆がまちづくりを進めたり、産業を興してきた経験を持っています。

ハウス・ハンズ・ギャラリーは、一応産業社会の基盤が出来て、成熟社会へ向かう時代にあって、市民のくらしの中にある文化とすまいの産業を繋ぎ、新しいシステムとして、組み立てる実験工場であり、情報発信基地です。

市民と産業が接近し、一体となって現代にフィットしたモノづくりを探究する拠点です。探究のための5年間のフィールドでもあり、データ収集の定点観測所です。

さらに、市内外のすまいづくりやまちづくりの実践経験などを結集して、ハウジング・トラストといった、くらしの文化とすまいの産業のセンターづくりが構想に上がっています。

オープンに際して、すまいやまちづくりに、HOPE賞の受賞式がここで行われたことは、そのプロトタイプが出来つつあるといえるでしょう。

京都デザイン関連団体協議会の11団体も、参加していますし、勿論、行政は「後押し」の役回りを果たしています。

#### アルパックの役割と姿勢

プランニング・コンサルタント=アルパックは、どのような役割を担い、何をしてゆくべきか、にも触れておかねばならないでしょう。

1979年(昭和54年)の住宅審議会中間答申以後、政策課題の検討のために、京都の住宅と居住地の構造を解明する研究から、「新しい都市住宅等の研究」に加わり、一方、中立学区のまちづくりにコンサルタント派遣の形で参加し、住民福祉協議会に協力してきました。

この間、京都府の委託で府下での、多様な型の住宅と住宅地の調査は、研究に貴重な厚みをつけました。また、市内での公営住宅建替事業のプランや、伏見のまちづくり、デザイン会議への参画は、企画提案へ、大いに役立ちました。

コンサルタントは、表に立つべき時は、立たねばなりません、あくまで縁の下の力持ちです。研究開発から、デザインまで、専門家をコーディネートし、実行に乗せるのが使命です。と同時に自ら調査・研究から、技術開発・デザインまでの能力を磨き、理論的にも、

技術的にも、さらには創造的にも、時にはケンカしたり、リードしたりしなければなりません。

過去11年間、政策研究のためのシンクタンクのチーム、事業企画を推進するプロジェクト・コンサルタントのチーム、建築・造園・デザインを担当する設計計画チームなどが、「車がかかり」で、あるいは共同で取り組んだ、プロセスそのものも創造的な面白い仕事でした。

プランニング・コンサルタント冥利につきる仕事の機会を与えて頂きました、京都府・市とご指導頂いた諸先生方に感謝申し上げます。(これは5月27日の京都HOPE推進協議会でのスピーチをもとに要約・修正したものです。)

(みわ ひろし)

### 「日の丸」のルーツ

#### — 茜染(あかねぞめ)の里 — 福岡県筑穂町

山田 龍雄

#### 「日の丸」と「筑前茜染」

我が国の国旗(正しくは日本国総船印)は、幕末の黒船騒動の折、薩摩藩主島津斉彬が国旗として「日の丸」を制定するよう幕府に建議したことが始まりといわれています。ところが薩摩においては「日の丸」になる良質の染料がなく、かねて島津家と黒田家とは姻戚関係にあって黒田家の領する筑前国穂波郡山口村茜屋(現福岡県嘉穂郡筑穂町大字山口字茜屋)に優秀な茜染をする家が古来から伝えていることを聞き、島津公はこの地に旗奉行を派建し、この原料と染色法の伝授をうけて「日の丸」を染めたといわれています。

その後、九州各藩からの大量の注文を受けるようになり、山奥の無名の一染物工は九州

#### 筑穂町の位置



の隅々まで知れわたるようになったのですが、明治以降の近代化学染料の出現により、明治初期には衰退したとのことです。

#### 茜染の復元と特産品開発への取り組み

この茜染を復元し、ふるさとの誇りにしようという時の筑穂町長らの呼びかけにより、町職員や地域の染色家により、当時の文献や元禄時代の「農業全書」をたよりに昭和55年にその復元に挑戦し、復活第1号を約120余年ぶりに完成されました。

町長室に置かれていたその「日の丸」は私達が見なれている赤系統の強い色ではなく、いわゆる黄系統が強い朱色でありました。

茜染は原野に自生するアカネ草の根を原料とするものですが、根こそぎ採取した場合に

#### 原料となるアカネ草



は、再生しません。また、自生ものは茅などと混在しているため、安定した原料を確保するのが難しいということで、昭和59年から約1反程度の田を借りて本格的なアカネ草の栽培に取りかかっているそうです。しかし、良い「茜」色とするためには最低5年以上の原料を使用しないとイケないそうで、今のところはまだ自生の原料に頼っているところのようです。

また、茜染の技術を向上させようと「茜染め染色研究会」のうち数名が県の工業試験場で技術を身に付け、博多帯、ネクタイ、ハンカ

チなどの商品化に取り組んでいます。

今では、「茜染」の復原を聞きつけた周辺地域の人々からの引き合いが多く、生産が間に合わないぐらいだそうです。

ただ、デザインの工夫や、原料の安定供給等、特産品としての課題はいくつか残されているようで、今後の取り組みに期待したいと思います。なお、この話は昨年特産品開発の仕事をした時、福岡県の工業試験場の所長さんからおうかがいした話のもとになったものです。

(やまだ たつお)

## トリスタンとでんでん太鼓

重本 幸彦

### トリスタンとはなにか

筑波研究学園都市の北端に、文部省の高エネルギー物理学研究所がある。この研究所のメインの施設は、「トリスタン」というニックネームで呼ばれている。トリスタンというのは、ワグナーの歌劇などにもなっている物語に登場する騎士の名前にも通じるということらしい。電子を走らす装置なので、日本流に「イカツチ(雷)」ぐらいの名をつけてもらえると、もっと親しみやすかっただろう。

トリスタンは日本ではもちろん初めての施設で、電子と陽電子(普通、電子はマイナスだが、これはプラスの電荷を帯びている)とを、リングの内でもぐるぐる回して、高速(つまり、高エネルギー)で正面衝突させ極微の世界を探る装置である。この時の電子ビームの幅などから、延長3kmのコンクリート構造物に対し、2cm以内の誤差しか許されない。いわば、超精密土木工学(建築学)の工事といえる。建設に携わった建設系の責任者のS氏に苦勞話を聞かせてもらった。この巨大装

置と超精密という相矛盾する課題をどう解くか。物理学者と建設技術者のブレインストーミングが、何日もくり返されたということである。建設技術の問題以外にも、真空の確保、磁場の問題など、いずれも3kmというスケールでの難問題がいろいろあったと想像される。

### 発想の視点

打合せのあい間のある日のこと、自宅で構想を練っていた建設系の責任者の人が手元のおもちゃの絵本をながめていた時のことだという。一大体、こんな時に絵本を見たというのが、この人の面白いところだと思う。ともかく、その絵本をパラパラめくって、ふと目にとまったのが「でんでん太鼓」だったという。でんでん太鼓は、小さな太鼓をいくつも輪につなげてある。これがひらめきとなって、結局、トリスタンは、リングを60mごとに区切って、その間を特殊な止水板でつないでいくという工法に行きついたという。こうした柔構造の駆体により、全体の調整が容易となり、必要な精度が確保された。固いと思っていたものを柔かく

してしまう一かにも、東法的な日本人技術者独自の発想が、トリストランに生かされているのだ。世界の最先端に立たされる中で、日本人も独創性を発揮しつつある例だと思われる。

それにしても、電子を高速で走らせ、ぶつけるいなづまのような装置と、雷さまが背負っているでんでん太鼓とは何かの因縁かもしれない。(しげもと さちひこ)

## 新航空交通のユメ "ヘリシップ"

糸乗 貞喜

### 京都と空港との距離

東京で夕方会議が終ると、関西に帰ってくるに当たって、大阪の人から「何時の飛行機ですか」と聞かれる。「いやあ、私は新幹線なんですよ」という返事をしながら、なんだか上から見おろされるような、自分だけモタモタしているような気分を味わう。といっても、伊丹から帰ってくることを思えば、時間差はなくても新幹線を選ぶ。まして乗る(出発する)ときは空港バスの不安定さ(高速道路の事故など)を考えると飛行機に乗る気分にならない。また福岡からでも同様で、大阪の人より遠いところまで行くのに飛行機には乗れない。

ところが、その空港が泉州沖まで引越して

### 図1 ヘリコミュータの試み

京都新聞

昭和63年(1988)5月14日 土曜日

#### ヘリ・コミューター事業化の条件

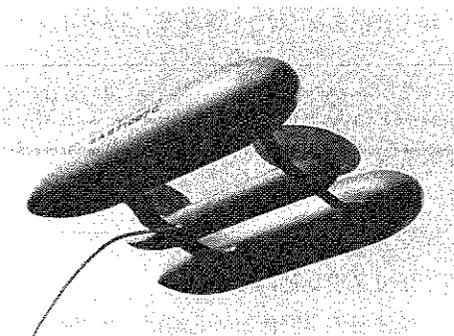
片道18,500円 空席利用80%

### 実現に弾みつく 適地探しなど課題

【京都市】京都市は、関西国際空港の移転に伴って、京都府と連携して、ヘリコミューター事業の事業化を推進している。事業化の条件として、片道18,500円、空席利用率80%を掲げ、実現に向けて適地探しなどの課題に取り組んでいる。京都市は、関西国際空港の移転に伴って、京都府と連携して、ヘリコミューター事業の事業化を推進している。事業化の条件として、片道18,500円、空席利用率80%を掲げ、実現に向けて適地探しなどの課題に取り組んでいる。

京都—関西新空港—日本航空手配工業会が調査

### 図2 ヘリシップのソリッドモデル



さらに遠くなると、名古屋駅まで新幹線で行って小牧で乗るか、岡山駅経由で空港に行く方が早いかもしれない。

### 泉州沖までヘリコプターで

京都と関西新空港(泉州沖)で結ぶヘリ・コミューターの検討がされている。これは座席利用率が80%で18,500円/人とした場合採算的にもやっつけける(63年5月14日付京都新聞)とされ、1人1キロ当りの運賃単価が185円となる。

これでは東京や福岡行に利用することはできないし、北海道へでも名古屋—小牧というコースの方が現実性が高い。

運賃がもし半分の約10,000円になると、名古屋までの新幹線が5,000円程度であるので、便利にもなるので「北海道へいくなら泉州まで行って…」ということにもなりやすい。それが、まだ現実のものとなっていないが、ヘリシップではないかと考えられる。

表1 ヘリシップの全体概要

	双胴型VTOL機LTA (SA871110K)		川崎ヘリスタット型 LTA(旅客用)	YS-11旅客機	ヘリコプタ パートルCH46	ジャンボジェット 機 B747
	$r_s=0.5$ タイプ	$r_s=0.7$ タイプ				
全 長 (m)	67	89	80	26	14	70
全 幅 (m)	52	60	52	32	15	60
全 高 (m)	25	25	30	9	5	20
総 重 量 (ton)	30	50	32	24.5	8.6	32
自 重 (ton)	15	25	18	15	4.9	16
座 席 数 (人)	~100	150~180	120	60	32	370~500
巡航速度(km/hr)	142	140	150	470	242	1000
(max)	(196)	(172)	(170)	( )	(271)	( )
航 続 距 離 (km)	670	900	700	1800km~ 1000km	185	9100
エ ン ジ ン (SHP)	1000×4基	1000×4基	600×8基	3000×2基	1250×2基	19.8t×4基 (推力)
輸送効率(生産性)	4.32	7.20	3.70		3.1	
[WV/P]	(Vcr)	(Vcr)	(Vmax)		(Vcr)	
One Engine Out の対策	ア リ	ア リ	(ア リ)		ア リ	
離 着 陸	VTOL	VTOL	VTOL	1200m	VTOL	3200m
経 済 性	注: コミュニタ機としての目標は 1人1km当たり80~100円		29円/km (粗試算結果)	24円/km	(数百円/km)	
開 発 費	?	?	150億円/6年			

(注)  $r_s=0.5$ タイプとは、ガス袋の浮力と回転翼による揚力が50%:50%のもの  
 $r_s=0.7$ タイプとは、ガス袋の浮力と回転翼による揚力が70%:30%のもの

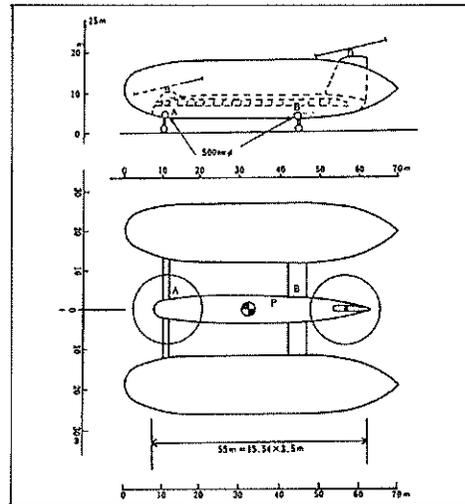
ヘリシップとは

関西新空港へのアクセスとして、大阪や神戸からも含めて、飛行船のことが一時話題になっていた。飛行船というのはフワフワ浮くものだから燃料もあまりいらぬし、近距離だからそれほどスピードを出すこともないし、非常に都合がよさそう。しかしそれが欠点でもあり、着陸の安全性がなく、風などの影響も受けやすく、運行の為に用員が多数必要で、実用性が少ないということであり、いつかはなしに話が消えていった。つまり、「フワフワするのが具合が悪い」ということである。

もう少しフワフワしない浮かない飛行船がないかということで考えられたのがヘリスタットで、ガスの浮力に半分ぐらいたよるヘリコプターである。ところがこの構造にはいろいろ問題があって、実験は失敗した。そこで考えられたのが、双胴型のヘリシップである。これはまだ実験どころか模型さえも十分なものは作られていないが、安東教授(名古屋大学)航空力学の専門家としての計算では相当

なところまでいっている。

図3 ヘリシップ



安くて早く簡便になるか

コストも含めて、各種の機種との比較を試みると(表1)、100~200座席ぐらいのヘリシップができると、運賃がなんとか半分になりそうである。

机上プランではあるが、1人1キロ当たり80~100円となっており、京都・泉州間は8,000~10,000円ということになる。またヘリコプ

ターであるので垂直離着陸型であり、都心と空港を直結することができる。またこの程度の運賃になれば、大阪の梅田貨物ヤード跡あたりから泉州までのコースも考えられる。横浜や東京から成田までも同様に考えられるだろう。

しかしまだまだ問題も多い。今のところは机上プランであるので、まず①構造強度が大

丈夫かどうか、②突風には、③上昇気や下降気流には大丈夫か、④本当にコストは80～100円/人・キロぐらいになるのかななどの検討が今後の問題である。(この資料は「ブイヤント航空」1988・No1。なおくわしくはブイヤント航空懇談会 東京都港区芝大門2-3-14 共立研究グループ気付か、当編集部系乗まで) (いとりの さだよし)

## 20世紀から21世紀へ日本は何を伝承するか(2)

### 偉大なストック、ヨーロッパ・アメリカ

尾関 利勝

#### 展示は学術的・見るほうは遊園地感覚

日本では古くなって役に立たなくなった物の代名詞として「博物館」が引用されることがある。ヨーロッパ、アメリカの博物館は日本でのイメージとは異なり、まるで遊園地感覚の場所になっている。そのポイントは展示の内容とボリュームの他にミュージアムショップとレストランが充実していることである。ミュージアムショップでは町の書店ではちょっと見られない程の関係分野の図書、資料の他、子供達が喜びそうながん具、キャラクター商品、ファッショングッズなどがおかれている。レストランでは酒類もおいていて、気楽に一杯飲みながら、ディスカッションしている光景を良く見かけた。

パリで今もっとも新しい都市再開発がおこなわれているラ・ビレットに巨大な産業科学博物館がある。ここでは巨大な建物のスケールの持つ違和感を感じさせないほど超満員の入場者があった。

#### アリアンはヨーロッパの子供の常識

パリではラ・ビレットの他に発明発見宮を見た。発明発見宮はパリ万国博の会場となった水晶宮の一部を利用している。そのいずれ

にもアリアンロケットがある。アリアンはこのほかドイツ博物館でも見たし、フランクフルトの建築ミュージアムにもあった。アリアンはEC共同開発の衛星打ち上げ用ロケットで、日本初の商業衛星もアリアンで打ち上げ予定と聴いていた。どこの博物館でも子供達が口々に「アリアン」というのを耳にしたが、このことは私にとって大変印象深いことに思えた。ラ・ビレットにはNASAのスペースシャトルがあったし、ドイツ博物館ではその他にソ連のロケットも展示してあった(いずれもミニチュア)。この宇宙開発の時代に果たして何人の日本の子供達が、世界のロケットの名前を知っているだろうか。あるいはそれを見て学び、触れて知る場が一体日本の何処の都市にあるだろうか。

#### ラ・ビレットの内部



20世紀のストックを舞台に21世紀が花開く  
短期間の中で慌ただしくアメリカ、ヨーロッパを回って感じたことは、結局未だに日本がフロー型社会から進歩していないということだった。アメリカ、ヨーロッパ社会の空洞化がよく言われる。いずれもその巨大なストックをベースにして空洞化から回復しつつあるように見受けられた。日本の社会はよくいえば成熟期に、もうすこし冷ややかに見れば衰退期の入り口に差し掛かってきた。人口の構成、産業の構成、住宅問題そして何よりも経済の成長傾向が日本の社会の転換期を指し示している。ここに書いたことは実は日本とアメリカ、ヨーロッパのストックの違いの一面について商店街、博物館、そしてアーリアンを例に取り上げてみたまでのことである。

### 角倉了以と高瀬舟

笠松 明男

保津川や高瀬川などの開削を行い、江戸時代初期の京都の発展を支えた角倉了以はよく知られていますが、その実像や高瀬舟の実態などについては、あまり知られていないのではないのでしょうか。

もともと、角倉了以は京都の豪商である吉田家の出身であり、了以そのものは、技術者というより、ゼネラルマネージャーとして、吉田家が持つ金力・政治力・情報力・技術力（和算の入門書として有名な『塵劫記』を書いた吉田光由も吉田家の人間で了以とは同時代の人間だそうです。）をフルに動員して各種の開発事業にあたったそうです。

また、高瀬舟についても、わたしたちは、森鷗外の『高瀬舟』のイメージが強いためか、一隻で運行していたものと思いがちですが、実は、朝に大阪を発った7隻の三十石舟が伏見に着き、そこで十五石積みの高瀬舟に積み替

円高成金に浮かれて金持ち気分であるうちに気がつけばすっかりかんになってしまわないようにストックをしっかりと造っておくことが20世紀後半に生きる私達日本人の共通する課題ではないだろうか。

ここしばらく21世紀を標ぼうする各種のビジョンがはん濫している。先が見えないから見ようとする努力と意志を感じる。しかしこの先どうなるかよりも、見方を変えてどうするかと考えると、21世紀に対して私達ができることは円高成金に代表される、20世紀日本のエネルギーをしっかりとしたストックに置き換えることだと思う。その目で地域の開発を考えていきたい。

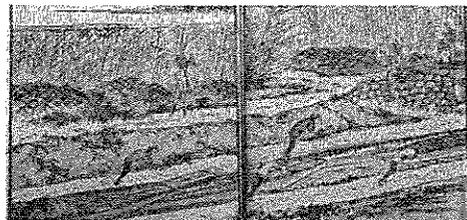
（おせき としかつ）

え、十五隻の船団を組んで高瀬川を廻ります（これは、鴨川を横断するためにどうしても必要だったそうです。）。そして、京市中に入ると、舟着場ごとに1〜2隻ずつ切り離していったそうです。

このような高瀬川水運と高瀬舟の運行は、関連産業（？）を育てました。伏見の馬借・車借もその一つで、前述の三十石舟から高瀬舟への荷物の積み替えを主な生業としていたため、角倉家が合理化のため、三十石舟を直接高瀬川に乗り入れさせようとしたときには、反対運動を起こし、その嘆願書を伏見奉行所に差し出したこともあったそうです。

先日、角倉了以の御子孫（京都市に在住の方です）にお会いしたとき、うかがったお話です。（かさまつ あきお）

### 高瀬舟



札幌テクノパークと  
エレクトロニクスセンター

山田 克雄

年間5千人の見学者

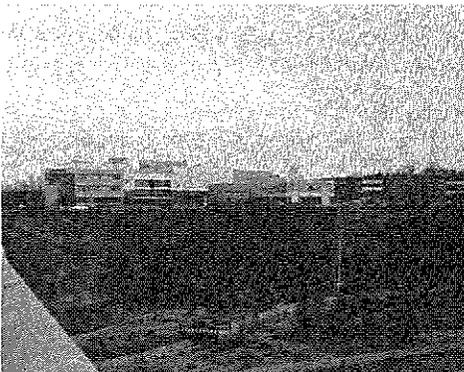
札幌テクノパークとエレクトロニクスセンターは、札幌市が取り組んでいる新しい形の先端産業基盤施設です。テクノパークは、昭和61年12月に第1期造成が終わり、約12ha、21区画が全て分譲済であり、その一画にエレクトロニクスセンターが開設されています。第1期造成地に隣接して、さらに約16haの2期造成計画があり、今年秋の完成を予定しています。今各地で取り組まれている先端産業を中心とする企業団地の先進事例として、注目を集めており、国内からだけでなく、世界20ヶ国から年間5千人の見学者が訪れています。

自然とエレクトロニクスセンター

が売りもの

訪れたのは4月のなかばでしたが、穏やかな天気恵まれ、札幌市郊外に残されている原始林(野幌森林公園)に囲まれたテクノパークの美しい環境が第一印象として残りました。美しい環境とともに、35億円の投資により設立されたエレクトロニクスセンターが、もうひとつの売りものになっており、札幌市のエレクトロニクス産業の振興が期待されています。(やまだ かつお)

札幌テクノパーク



衣川台まちづくり奮闘記

倉本 恒一

春まつりで始まる自治会活動

毎年4月には、衣川台の近くの衣川天満宮の祭礼があります。朝は衣川天満宮に神輿が奉納され、古式に乗取り稚児がそれぞれ華やかな衣装を付け、行列をして神社に向かう「渡り式」や、巫女が鈴や笹で踊りながら清めを行う儀式があり、昼からは天満神社の準氏子となっている天神山、マリナー団地、そして衣川台の神輿が奉納されます。その後、本殿前で御抜の後、子供達によって各自の町内を神輿を担いで巡行となります。

まちづくり意識の高まり

衣川台団地は湖西線堅田駅の南で、9年前に開発分譲が始まり、今は250世帯が居住しています。もちろん、自治会はありますが、自治会活動は、強制的なものであってはならないし、また各行事や活動に参加を呼びかけても、簡単に集まるものでもありません。まして運営費が足りないから会費を上げるのは殆ど難しい。ですから、それぞれの活動で人集め・金集めには苦心しています。しかし、いろいろ考えていけば、みんなで力を合わせてできることも多いものです。ここでは、そのいくつかを紹介したいと思います。

先に紹介した天満宮の祭礼は、分譲が開始されて間もなく考えたものです。有志によって手製の神輿をつくり、子どもたちの巡行を行いました。

また、団地内で夏まつりをしようということになり、毎年春と夏にまつりが催されています。夏まつりでは、盆おどりの他、カラオケ大会や人形劇、エレキバンドがあると思えば、昨年は立命館大学の落研の学生による落語が出たり、団地内の各サークルが作る屋台

が出るなど、毎年盛大になってきています。

衣川台では一昨年二つ目の自治会館を建設しました。集会所用に用地が残っていたことでもあります。団地の販売をしているS社の協力と大津市からの補助金が貰えた為です。市の補助金は一自治会に1件の補助しか出ないことになっており、その為、自治会を形式上2つの自治会に分けることにしたらどうかということになり、実現しました。新しい会館はフローリング貼りの文化ホールとし、大きな集会や卓球、ジャズダンスも出来るようにしました。

また、昨年は衣川台環境維持管理組合を設立しました。これは、下水道が近くに布設され、浄化槽が不要となった為、団地に入居する時各戸が納めてきた一時負担金が今後の入居者は納めなくてもよいことになり、その負担金を団地の共有の施設の維持管理や環境整備の為の基金として納めて貰おうということから発想されました。一時金の徴収は団地の販売会社にまかせないと出来ない。販売側では自治会で一時金を取るのは、自治会に加入しないという人も出る、資金運用面で問題が生じる恐れある、販売促進にも影響があると反対されました。それでは自治会と切り離し、管理組合とすればどうかということで、事例を調べたところ浄化槽等の維持管理以外でも環境整備の為の管理組合が滋賀県下でもあり、協力して貰えることになりました。

このような活動を通じて、通学路や道路交通問題、毎年草刈りをしている天神川の整備、など住民の意識も外へと広がっています。

衣川台自治会は、春に役員が一斉に変わります。ですから、毎年活動内容が少しずつ変わります。役員にとっては、大変なことです。が、みんなで取組む活動の原動力にもなっていると思います。

堅田では衣川台は新住民です。やっと市民権が得られた状況です。これからも、土地の文化にとけこみながら住みよい・美しい自分達の街をつくっていかうと張り切っています。

(くらもと こういち)

## 新 人 紹 介

大阪暮らしを始めるにあたって

真野 峰行

はじめまして、4月からARPA・Kでお世話になっております。よろしくお願ひします。まずは自己紹介と大阪暮らしを始めるにあたっての感想をまとめてみました。

所 属 ARPA・K 地域計画・建築研究所  
大阪事務所

名 前 真野 峰行 (24歳)

出身校 岐阜大学大学院

専 攻 土木(交通工学)

出身地 名古屋

名古屋から来てはじめて、大阪でアパート暮らしをすることになり、名古屋と大阪のアパートのシステムの違いをまず感じました。自分の住んでいるところは、通称「ハイツ」と呼ばれているものです。ハイツのみには限らないのですが、入居時にかなりの金額を必要とします。前家賃の他に保証金というものがいります。この保証金は家賃の7、8ヶ月分でした。名古屋では保証金という名称はほとんどなく、敷金、礼金と呼ばれるものが代わりにあります。礼金はアパートを出るときには返してもらえませんが、敷金は壁の修理等の経費分を除いて返してもらえます。保証金も半分程度は返してもらえるとのも事です。ちなみに敷金礼金は家賃の3ヶ月分程度です。

土地柄によるものなのか地方によってずいぶんシステムが違うものなのだと感心してい

る次第です。 (まの みねゆき)

私の山行経験より

山村 幸治

大分県は豊肥沿線の町で生まれた私は、地元の幼稚園、小・中学校を卒業した後、県立竹田高校に入学し、山岳部に入部しました。(サッカー部に入りたかったが、その高校にはなかった。)山岳部では、旧式のキスリングザックを背おい(洒落たアタックザックはまだなかった。)山の尾根や谷を歩きまわり、雨でぬれたテントの中で寝泊まりしていました。ハーケンとカラビナを使ったロック、ザイルを使って岩壁を蹴りながら降りていくアップザイレンなど、冬山以外はひととおりのようです。後輩の蹴った岩壁から直径1メートル程の岩がはがれ落ちあやうく難を逃がれたこともありましたが、カラビナをハーケンにかけはずし、指2本で岩壁から離れそうになる体を支えたこともありましたが、体力的・精神的にバテそうな時でも、「死にそうになったあの時に比べれば…」と思えるようになり、そう考えると山岳部の経験も多少は役に立っているようです。「これを生かしてこれからも…」とは、ここで恥しい気もしますが、そういうつもりで頑張りたいと思います。また、いろいろと御指導いただければと思います。(やまむら こうじ)



プロフィール

～1枚のレコードとの出会い～

中塚 一

3月にアルパックに入所して早や3カ月、事務所の空気には慣れたのですが、仕事上は暗中模索している毎日です。

ここでは大学の研究室(主に都心部における居住環境等)のことよりも重きを置いていた部活動(JAZZ研究会)について書かせていただきます。入学当時、純真無垢(?)な私に、一大転換期となる事件が起きました。それがマイルス・デイヴスの「マイファニーバレンタイン」というレコードとの出会いです。その音は、自分が今までに聞いてきた音楽とは違い、躍動的であり、創造的であり、そしてなによりもセクシーでした。その後は、音の洪水の中で4年間をすごしたのですが、バンドを組んでいたこともあり、その中で学んだことは、①自己表現(自分が考えていることを音に変えて表現すること、大げさにいえば人生観を表現すること)、②協調(自己主張が集まっただけでは音楽にならない、他人の音を聞きとり、どう反応するか)、③創造(常に新しい事に挑戦する姿勢)などです。以上の様な項目は、建築や街づくりにも共通する部分は多い様に思われます。

私事になりますが5月2日に長女を授かり、今後仕事・家庭共ますます充実させて行きたいと思います。(なかつか はじめ)

夢は再び外国へ

吉村 礼子

アルパックに入社して2ヶ月半が過ぎました。毎日が慌しくとても早く感じます。

短大では英米語学科で主に英文学を勉強してきました。そして在学中に研修旅行でカナダ・西海岸に行くことができました。カナダ

ではバンクーバー付近の小さな町、ナナイモとダンカンに行き、その町の大学の寮や女子高の寮に宿泊していました。それらの町は商店などもあまりない、田舎町なのですが、どの家の庭にも花が咲きみだれていて、家も一階建の小さなかわいい家ばかりなのです。しかし実は一階建ではなく、どの家にも地下に部屋があり、実際は2階建になっています。日が暮れるのが午後10:00頃にもかかわらず、ダウタウンと称している商店街は午後5:00にはすべて閉ってしまい、少々退屈でもありました。町の人々の優しさ、気さくさに異国人である私達はとても感激したものでした。ヨセミテ国立公園ではカナダの大自然をまのあたりにして自然の美しさ、偉大さに圧倒され、人間が本当にちっぽけな者に感じました。

また、外国の治安の悪さというものも思い知らされました。まだ小学生くらいの子供が、私達の手荷物を盗もうとしたり、黒人に追っかけられたりなど、さんざんな目にもあいました。今思えばスリルがありおもしろかったです。肝腎の英会話の方はほとんど上達しなかった。今では外人恐怖性のきざしが出てきています。しかし、夢は大きく持とうということで、お金をためて英会話を勉強しなおして今度はヨーロッパあたりへ行ってみたいと思っています。これから、アルパックで頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。



## 新人としての現役OB

小林 佑造

娘に言わせると私はワーパルーパーだそうですね。

私にとって第1期アルパックは昭和45年から52年までの7年間でした。その頃アルパックは不夜城で、何時でもだれかがゴソゴソしていたし、何かゴソゴソしていなければ仕事が終わらない気分でもありました。その間国鉄吹田駅前の再開発を担当することとなりました。

吹田の仕事からは多くの事を学びましたが特に街づくり・事業計画・コンセンサスの3要素は現在私が仕事に取り組む時の出発点にもなっています。また、事業企画をした新大阪共済会館(新大阪シティプラザに改名)は大阪出張の常宿(安くて広々としているので)として利用しています。

今までは3人ほどでノンビリ建築設計の仕事をやっていましたが、今年2月にアルパック東京事務所開設に参加することによって、私にとって第2期アルパックが始まりました。

東京は仕事も多いが同業者も多く、役所で話をしていますと「アルパックさん幅広くやられていますね…関西では一流のコンサルではありませんか」と言われます。よりかかりの思考ではなかなか仕事にとどきません。今は人的ネットワークを拡大していくことによって、少しずつ仕事の話も顔が見え初めてはいますが、それをさらに広げるためにも御紹介よろしくお願ひいたします。

最後に蛇足ですが、アルパック現役OB所員も1割近い人数になっています。現役OB所員が増えていくのも新しい事務所作りかも知れません。私もこれから新たに東京事務所作りで微力を尽くしますので、今後ともよろ

しくお願いいたします。  
(こばやし ゆうぞう)

再びよろしく申し上げます。  
池田さちよ

はじめまして、と言うより、11年ぶりに再びお目にかかりますので改めてよろしくお願  
いいたします。

かって私がいた頃は、非常に専門性という  
か、プロ意識ということがやかましくいわれ  
まして、将来何で食べて行くのか、どうなり  
たいのか、常に問題になっていた様に思われ  
ます。もともと私に専門性などあるはずはな  
く、アルパックに入ってはじめて経理をやっ  
た様な状態でした。当時のアルパックは建築  
が主流で、絶対的な位置を占め、皆自信に満  
ちていた様子で、私にはただまぶしく感じら  
れました。その分だけというのも変ですが、  
会社そのものも、経理の蓄積は何もなく、教  
えてもらう人もない状態で、あせりとみじめ  
さの入り交った気持で、他の会社へ聞きに行  
ったり、講習会があると聞けばとんで行っ  
たりと、ともかく一応の基礎知識を得ると共に、  
経理のシステムを作ることに追われていた様  
な状況でした。

迷いがふっ切れたのは、退職した後再就職  
してからです。どこへ行っても私の経理の知  
識がそのまま活かされたのです。ようやく、退  
職後、私の専門性が見つかった様で、それ以  
後私は経理で食べて行けると、多少の自  
信がついてきました。昔のアルパックで給料  
をもらいながら勉強させてもらったわけです。  
今度は、それで多少のお役に立てればと、考  
えております。(いけだ さちよ)

ネットワーク通信③  
『日本都市問題会議関西会議』  
石本 幸良

日本都市問題会議関西会議は昭和57年に東  
京都市問題会議の発展として、京阪神の3都  
市の都市問題に関わる人達が集まって組織さ  
れました。この会議の事務局を神戸、大阪に  
引き続き、61年の秋から京都に移し、アルパ  
ックが事務局をさせて頂いております。

現在、会員数は大学教授、行政の方々、評  
論家、コンサルタントなど約150名に達し、  
毎月第3土曜日を例会として、都市問題に関  
して第一線級のご活躍の方々のご報告をもと  
に会議を続けております。各都市毎にテーマ  
を決めて取り組んできましたが、現在は「都  
市のアイデンティティ」をテーマに討議を続  
け、会議の内容につきましては会報で、会員  
の方にご報告しております。

私自身、都市計画の実践に携わる者として  
は3都市の最も新しい情報に接し、また、会  
議の後のサロンタイムではいろいろな裏話に  
も接することができ、たいへん有意義な時間  
を過ごさせて頂いております。事務局のメン  
バーとしては会員の方にご迷惑をかけながら  
も、多くの御協力に助けられながら、ようや  
く1年半が過ぎたところです。

関西会議では現在若い方々の積極的な参加  
に向け、取り組んでおりますので、都市問題  
にご興味のある方は事務局の方にご連絡頂き  
たいと思います。(いしもと ゆきよし)

会議風景



## 旧刊新刊書評紹介

## 「ワープロ徹底入門」

木村 泉 著

岩波新書

松尾 光洋

ワープロはワード・プロセッサの省略形である。この和製英語の「ワープロ」は今や国際語として正式にみとめられつつある？！

ところで、ワープロと聞くだけで、何か難しいものと決めてかかっている人が多い。ちょっと変なことをしたら機械を壊してしまうのではないかと恐れて敬遠していることが多い。実際にはそれほど難しいものではない。現在のワープロは誤操作を極力避けるように設計してある。気楽に接すると案外易しくてとても便利であることがわかる。基本的にはタイプライターと同じと考えればよい。

タイプライターは欧米語圏では基本的にアルファベット26文字で足りるが、日本語は平仮名、片仮名、漢字、ローマ字と多種にわたる文字の種類と数がある。日本語タイプライターはそれを一覧表にして一字一字拾ってくるものであった。

ワープロはかな漢字変換と呼ばれる機能をもち、日本語の読みを仮名かローマ字で入力すれば漢字まじりの文に直してくれる。かな漢字変換はパソコンとしては画期的な日本語入力方法だった。

現在主流のかな漢字変換（ローマ字漢字変換）は日本語の文章構造を解析しながら、極力適切な漢字に変換するようにプログラムされたものが多いが、まだ、十分使いやすいとはいえない。

よく例文としてあげられる文に「貴社の記者が汽車で帰社した」がある。この同音異義語を解析して適切な漢字を当てはめられるワープロはほとんどないであろう。このように

現在のワープロのかな漢字変換はまだ過渡期にある。

かな漢字変換がいちばんいい文章入力方法とも限らない。文章入力方法は変化し続けている。

ワープロは、また、単なる消書用ではない。ワード・プロセッサ（言語処理装置）の名の示すとおり、文章を作成・編集するためのコンピュータのプログラムである。つまりワープロはパソコンの一部である。俗にいうワープロはワープロ専用パソコンのことである。パソコンはワープロの他にもいろいろな使い方が出来る。パソコンはソフトさえ取り替えば新しいワープロになる。ワープロは原則的には機械を取り替えないと新しい機能は使えない。ワープロ自体の進化は急速である。1年前どころか半年前の機械でも今はもう機能的に満足が行かない。

というようなことを、具体的な機種（ワープロ専用機とワープロソフト）を例に採りながら解説したのが「ワープロ徹底入門」（岩波新書）である。

当然これからワープロを使ってみようと思っている人、いわゆる初心者向けにかかれた本であるが、既にワープロを使っている人には、ワープロに対する考え方を整理する意味でも分かりやすく書いてある。

（まつお みつひろ）



## まちかど

### 大阪事務所界限報告・その1 八軒家の石段(三十石船着場)

藤田 武彦

「ここいらは昔、料亭がいっぱいありましてねえ。」大阪事務所近くの今は数少ない料理旅館のおかみさんの話だった。「一軒一軒なくなってマンションや事務所にかわってしまいました。」急に大阪事務所のある石町(こくまちと読む)のことが知りたくなった。

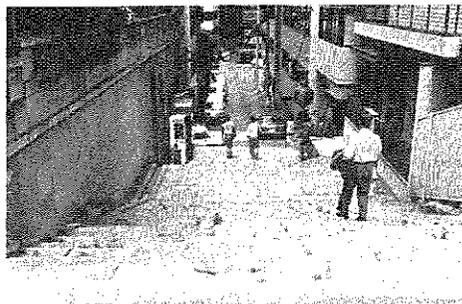
以前から気になっていたのが写真の石段である。近くをよくみると昆布屋さんの前に石碑がたっていた。「八軒家船着場の跡」とあった。

八軒家というのは、舟宿が8軒並んでいたからであるといわれ、船着場というのは京都と大阪を結ぶ客船三十石船の着船地を示している。かつての水上交通の拠点として繁栄した地である。「料亭がいっぱいあった」のはこうした事情があつてのことで、石町は北浜周辺と合わせて大阪の宴会、会合の場であったものらしい。船着場跡の背後の高台は眺望が広がり、恰好のロケーションだったにちがいないと思った。

さてこの石段であるが、こうした船着場へ向かう石段であったものらしく、江戸の古図に、先の昆布屋さんとともにみることができ

る。(ふじた たけひこ)

八軒家の石段



八軒家船着場跡の石碑



## ARPA・K (株)地域計画・建築研究所

ARCHITECTS, REGIONAL PLANNERS & ASSOCIATES, KYOTO

本 社	〒600	京都市下京区四条通り高倉西入ル立売西町82 (大和銀行京都ビル8階)	TEL (075) 221-5132(代)
京 都 事 務 所			FAX (075) 256-1764
大 阪 事 務 所	〒540	大 阪 市 東 区 石 町 1 丁 目 1 番 地 (天満橋千代田ビル2号館)	TEL (06) 942-5732(代)
			FAX (06) 941-7478
名 古 屋 事 務 所	〒460	名 古 屋 市 中 区 丸 の 内 3 丁 目 18 番 30 号 (ツボウチビル6階)	TEL (052) 962-1224(代)
			FAX (052) 962-1225
東 京 事 務 所	〒402	東 京 都 港 区 芝 大 門 2 - 3 - 14 (一松ビル1号館402)	TEL (03) 437-3405(代)
			FAX (03) 437-3407
九 州 地 域 計 画 研 究 所	〒810	福 岡 市 中 央 区 天 神 1 丁 目 15 番 1 号 (日之出ビル6階)	TEL (092) 731-7671(代)
			FAX (092) 731-7673